新年のご挨拶

理　事　長
上　田　　清
（大和郡山市長）

新年明けまして おめでとうございます

組合員並びにご家族の皆様におかれましては、清々しい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。また、本組合の事業運営につきまして多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、平成30年度は、生活習慣病に着目した「特定健康診査等実施計画」の第3期がスタートするほか、データ分析に基づいた効率的な保健事業を目指す「データヘルス計画」が本格稼働する第２期が始まります。

本組合においては平成25年度より取り組んでいるところですが、特定健診・特定保健指導の実施率が全国平均より低い状況が続いております。

平成30年度より、後期高齢者支援金の加算・減算制度の見直しが行われ、特定健診・特定保健指導や予防健康づくり等に取り組む保険者に対するインセンティブ重視の取り組みとなり、複数の指標により総合的に評価され、指標の達成状況に応じて加算減算されることになります。

本組合において、この状況下では加算対象保険者となると思われ、短期財源率を引き上げることになりかねないことから今まで以上に所属所（事業主）との連携を行い、実施率向上に向け取り組みを強化し、組合員とその被扶養者の皆様の健康管理を行う所存です。

また、年金事業におきましては、平成27年10月の共済年金と厚生年金の一元化に伴い厚生年金への加入となったことから、保険料率について、厚生年金に統一する形で毎年0.354％ずつの引き上げとなっておりましたが、平成30年9月の引き上げで18.3％へ統一される見込みとなっております。

今後も引き続き共済事業の健全な運営を図るため、全国市町村職員共済組合連合会などの関係機関と連携を密にし、適切な対応を図って参ります。

最後になりましたが、皆様方のご健勝とますますのご活躍を心より祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。